

5

特別支援学校の参考事例

※特別支援学校では，個別の教育支援計画等とのかかわりから年間指導計画例は示していません。

※特別支援学級の参考事例としても活用できます。

単元名

学校祭で出店を開こう

小学部全学年

生活単元学習

か
か
わ
る

〈単元のねらい〉

- 学校祭で出店する活動を通して、生活経験を広げたり、望ましい生活習慣を身に付けたりするとともに、自分の役割を果たす態度を身に付ける。
- 友達や教師、地域の人たちとかかわりながら楽しく活動する。

志教育の視点

- ・友達と協力する中で、互いのよさを認め合い、励まし合う気持ちを育てる。
- ・人のために役立つ喜びを体験させることで、自分の責任や役割を果たすことの喜びを味わわせる。

は
た
す

〈単元の流れ〉

第1次 「がっこうさいをしよう」

- 昨年度の学校祭の様子を振り返る。
- 学校祭の日程や当日までの学習の流れを知る。

第2次 「がっこうさいのじゅんびをしよう」

- 学校祭に向けた準備をする。
- 出店でのお客さんとのやりとりを練習する。

第3次 「みなさんにおしらせをしましょう」

- 学校祭への招待状やポスターをつくる。
- 招待状を配るなどの広報活動をする。
- 会場の飾り付けや出店の準備をする。

第4次 「さあ、おまつりだよ」

- お客さんや友達とかかわりながら、お祭りを楽しむ。
- 自分の係の仕事をしっかりと行う。

第5次 「おまつりをふりかえろう」

- 学校祭を振り返り、がんばったことやよかったことを振り返る。

ポイント

- 学校祭という楽しいお祭りがあることやたくさんの人が来校し、かかわることについて、前年度の写真やビデオをもとに事前指導することが大切です。

ポイント

- 出店の準備や本番では係分担に従って、自分の役割や責任を果たすよう、何を、どのくらい、いつまでなど、明確に理解させることが大切です。

夢をはぐくみ志に高める手だて

- ・人のために役立つ喜びを味わわせるために、学校祭で出店する活動を設定する。

単元名

収穫祭でピザ店を開こう

中学部第3学年

生活単元学習

かわる

〈単元のねらい〉

- 先輩の働く職場を訪問した際に教えてもらったピザづくりを思い出しながら、安全と衛生に気を付け、友達と協力してピザ調理に取り組む。

志教育の視点

- ・先輩の働いている現場を見学し、多くの人が仕事を分担し、協力して働いていることに気付かせる。
- ・ピザ店を開く活動を通して、自分の役割や責任を果たす喜びを味わわせる。

はたす

〈単元の流れ〉

第1次 「先輩の職場を見学しよう」

- 先輩の働く授産施設を訪問し、ピザの作り方や接客態度等、働く上で大切なことについてインタビューをする。

ポイント

- 働く姿を見る観点やインタビューでの質問事項を明確に示すことが大切です。

第2次 「夏野菜を使ってピザとジュースを作ろう」

- 米粉でピザ生地を練り上げ、学校の畑で育てた野菜を使用し、ピザを焼き上げる。
- しそとトマトを使ったジュースも作る。

ポイント

- 自分の役割を自覚させるための指導法を工夫しましょう。

第3次 「ピザ店の開店準備をしよう」

- ピザ店の開店に向けた役割分担について話し合い、収穫祭当日に向けた開店準備や接客等の練習を行う。

ポイント

- 役立つ喜びを味わわせるために、できたことを認め、励ます教師の声かけが大切です。

第4次 「収穫祭を開こう」

- 3年生がピザ店の開店に向けて取り組んできた野菜の栽培や職場訪問、調理実習、店の装飾等の活動内容について、ポスター発表を行う。
- 3年生が担当するピザ店を開店し、楽しく会食する。

夢をはぐくみ志に高める手だて

- ・仲間と協力して働くことの喜びや人の役に立つ喜びを味わわせるために、ピザ店を開く活動を設定する。

単元名

卒業後の生活を考えよう

高等部第2学年

生活単元学習(進路の学習)

か
か
わ
るも
と
め
るは
た
す

〈単元のねらい〉

○グループホームや就業・生活支援センターを見学し、家庭・地域の生活について考える。

志教育の視点

- ・先輩の働く職場を見学することにより、職場で果たす役割の大切さに気付かせる。
- ・先輩の体験談を聞くことを通して、家庭生活の様子、地域の人々とのかかわり、自治会の中で果たすべき役割について気付かせ、生活の自立や社会参加への意識を高める。

〈単元の流れ〉

第1次 「先輩が働く職場訪問」

○先輩が働く会社を訪問し、仕事の分担とその責任、会社で守らなければならない基本的なきまりについて先輩や会社の方に聞き、働くことの意義について考える。

ポイント

- 作業の仕方を観察する観点や話を聞く観点を明確にし、仕事をしている人たちが自分の役割を果たしていることに気付かせるような働きかけが大切です。

第2次 「ハローワーク訪問」

○ハローワークを訪問して、その役割や就職時の手続きについて調べる。

第3次 「就業・生活支援センター訪問」

○グループホームや就業・生活支援センターを訪問し、グループホームの生活や就業・生活支援センターの働きや自分が活用できる生活支援サービスについて調べ、ワークシートにまとめる。

ポイント

- グループホームの利用にあたり、利用している人との適切な関係を築くことができるよう具体的な指導をすることが大切です。

第4次 「卒業後の生活発表会」

○高等部卒業後の生活について、先輩の体験談を参考にしながら、職場訪問、ハローワーク訪問、就業・生活支援センター訪問で学んだことを「日中の生活(働く生活)」、「家庭・地域の生活」、「余暇の過ごし方」の3領域にまとめ、ポスターセッション、パワーポイントなどで発表する。

※就業・生活支援センター等関係機関担当者を招待する。

夢をはぐくみ志に高める手だて

- ・役割の大切さに気付かせ、生活の自立や社会参加への意識を高めるため、職場見学やグループホーム訪問、各支援機関等の利用体験活動を設定する。